

# 感動一点の場

『緑の中の犬』

1972年 小川原 脩 画



この作品、小川原脩はとてもユニークな描き方をしている。まずキャンバス全体に黄緑色が塗られ、その上に赤茶色が一面に重なる。そしてまた黄緑色で犬の形に縁取りが描かれているのである。輪郭のほかは、目鼻口と耳が淡く描きこまれているだけで、二色で大胆に表現されている。犬の体のラインを示す境界線は、迷いなく絵の具が乗せられ、くっきりと形が浮かび上がる。初めて見たとき、このような作品は小川原には珍しいな、と思った。しかしいったん気がつくと、そのような方法が何点かの作品に見られることがわかってきた。70年におよぶ長い画業において、挑戦と変化を続けてきた中、こういった表現も試みたのだろう。

犬は、動物を多く描いた小川原の作品のなかでも主要なモチーフのひとつ。シンプルに描いた中にも、凛々しく上をむく犬の姿に加え、まるで緑色の炎が犬を取り巻いているようにも見え、力強さを感じる作品である。

文：沼田 絵美（小川原脩記念美術館 学芸員）

## —林の中の羊蹄山？—

夏を彩るセミたちの声は静まり、秋の虫の声と共に冷えた夜風が流れてくるようになった。そんな中でも変わらずにせっせと働く虫、アリが今回の主役。

先日、町内の方から「アリ塚がある」と報せをいただいた時のこと。示された場所に行くと、そこには17～18センチの立派なアリ塚がそびえ立っていた。整った円すい形は、まるで羊蹄山のような。

この塚を築いたアリは、「ツノアカヤマアリ」という赤い体をした4～7ミリほどの種類だ。塚は枯れ葉や枯れ草を積み重ねて作られ、地中の巣と内側でつながっている。日の出ている時間帯は地中の巣から幼虫やサナギが運ばれてくる。塚はフカフカで空気をよく含んでいるため、日光の熱を取り込み暖かくなる。枯れ葉や枯れ草がさながら快適な布団の役割を果たしており、その中で幼虫たちを育てれば、涼しい地中よりも早く成長させられることをアリたちは知っているらしい。そのため、よく晴れた日にはぐんと大きくなる。塚の高さは、過去の記録で最大20センチほどのようだ。もしかすると、あなたのお庭にも記録を超えるような山がひっそりと立っているかもしれない。

文：小田桐 亮（倶知安風土館 学芸員）



▲林の中に築かれたアリ塚



▲エサを運ぶツノアカヤマアリ

# ふるさと探訪

413回

### ■第3回 ふるさと探訪 「初秋の森と海辺の散策～旅するタネのタネ明かし～」

植物のタネと一言にいっても、その姿形はさまざま。かたい殻をもつもの、フワフワの綿毛を持つもの、ネバネバの液に包まれているもの…。初秋の森を歩きながら、タネたちの旅路を探りましょう。

講師：村上 尚美 氏（自然ガイドツアー心と～cocowa～ 主宰） 日時：9月23日（土） 8時30分～15時  
集合場所：倶知安風土館 費用：300円（保険代） 定員：先着15名 申込方法：倶知安風土館へ（☎22-6631）

## 展覧会のお知らせ

### ■常設展示

「小川原脩展 小川原脩ものがたり」

会期：開催中～11月26日（日）

### ■企画展示

「しりべしミュージアムロード展『おしゃべり美術館』」

会期：開催中～9月24日（日）

### ■第59回麓彩会展

1958年、小川原脩をはじめとする8人の発起人により創設された「麓彩会」。59回目の本展では、北海道における美術の現況をうかがい知ることのできる展覧会として、地域にゆかりが深く、かつ道内画壇を代表する作家13人の作品を小川原脩作品とともに紹介します。

会期：9月30日（土）～11月26日（日） ※初日観覧無料

### ■関連イベント

「麓彩会アーティスト・トーク」

出品作家が自身の作品についてお話しします。

日時：9月30日（土）10時～12時

会場：当館第2展示室（展覧会初日につき無料）

## アート・イベントのお知らせ

### ■ミュージアムコンサート

「しりべしミュージアムロード・コンサート2017」

出演：大島さゆりさん（フルート）、多川智子さん（ヴァイオリン）、亀岡三典さん（ギター）

日時：9月2日（土）11時～11時40分 会場：当館ロビー（無料）

「ワインと音楽の夕べ」

出演：ふかまちけい さん（ギター）、桐山功さん（アルトサクソ）

日時：9月30日（土）18時開演 会場：当館ロビー

料金：一般1,300円 小川原脩記念美術館友の会会員1,000円

主催：小川原脩記念美術館友の会 後援：小川原脩記念美術館

### ■土曜サロン アート探訪（みて☆きいて）6

「ゴーギャン～野生へのあこがれ」

日時：9月9日（土）14時～15時

お話し：柴 勤（当館館長） 会場：当館映像ルーム 聴講無料

### ■アート・シネマ館 「シークレット・パラダイス」2001年/90分/オーストリア・イギリスほか（字幕）

日時：9月16日（土）14時～15時40分

お話し：柴 勤（当館館長） 会場：当館映像ルーム 聴講無料

### ■絵本の読み聞かせ 「キュービク紙芝居 ももたろう」ほか

開催中の「おしゃべり美術館」に合わせた企画。展覧会場の楽しい作品に囲まれながら、「ぐりとぐら」の皆さんによるお話を聞きます。

日時：9月23日（土・祝）14時～15時 対象：お子さまから大人まで

お話し：読み聞かせの会「ぐりとぐら」 会場：当館第2展示室（要観覧料）

### ■技法体験講座 「徳丸晋さんと水面（みなも）撮影」

「徳丸晋写真展 水面—minamo—」（12/2～2/4）の関連事業として、半月湖での水面撮影体験などに挑戦します。

日時：10月7日（土）13時～15時（雨天時は屋内講習会） 会場：半月湖（倶知安町）、現地集合

講師：徳丸晋さん（写真家） 対象：高校生以上 定員：先着15名 参加費：無料

持ち物：あれば望遠機能付きカメラ（一眼レフカメラに望遠レンズ、コンパクトデジタルカメラなど）

※体験用の機材がありますので、お持ちでない方もご参加ください。 申込：美術館に来館または電話



小川原脩記念美術館 倶知安風土館

☎21-4141 ☎22-6631

開館時間は9時～17時  
（入館は16時30分まで）

9月の休館日

5日、12日、19日、25～29日（展示替え休館）

## 美術館から

北広島市の郊外にある「黒い森美術館」。ごちんまりした建物と可愛いオブジェが点在する庭は、その名の通り、深い森に包まれている一方、洒落た室内では、軽やかな線に彩られた渋谷栄一の木版画が温かく出迎えてくれます。

厚田の山奥には、ログハウス風の素敵なレストラン「チニタ」に併設されたギャラリーが、花咲く庭の片隅にひっそりと佇んでいます。おとぎ話に出てくるような丸い建物は手作り感覚に溢れ、クラシックの音色に包まれながら、静かな時を過ごすことができます。

北海道にはこんな「隠れ家」的な場所がまだまだたくさんあるでしょう。あなたのお気に入りの美術館やギャラリー、いろいろお聞きしたいですね。

館長 柴 勤